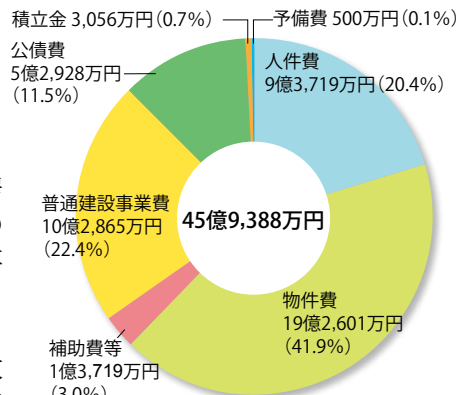


歳出・歳入について 前年度比
29億9,593万円の減少

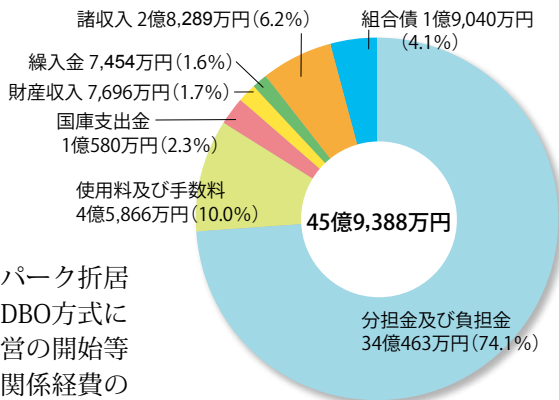
歳出

○クリーンパーク折居の稼働に伴う旧施設の解体及び跡地整備工事を実施するとともに、稼働後11年を経過するクリーン21長谷山の改修整備工事等、安定稼働と安心安全な工場運営を確保するために必要な改修整備工事を実施します。



歳入

○クリーンパーク折居の完成及びDBO方式による施設運営の開始等に伴うごみ関係経費の減少、クリーンピア沢の下水道排水整備事業の完了に伴うし尿処理施設建設経費の減少等を踏まえたもので、対前年度比国庫支出金は8億7,244万円の減、分担金及び負担金は4億4,871万円の減となっています。



平成30年 当初予算

平成30年度は、公設民営（DBO）方式によるクリーンパーク折居の本格稼働やし尿等の下水道への排水開始など、将来を見据えたより効率的な事業形態への転換を行なう節目の年となります。また、各施設の機能維持を目的に計画的な整備を進め、1日も欠かすことのできない安心安全な廃棄物処理事業を継続することとしています。

予算総額

45億9,388万円（前年度比39.5%減）

市町分担金

34億 463万円（前年度比11.6%減）

平成30年度の主な取組

- ①クリーンパーク折居の稼働やし尿等の下水道排水の開始により、より効率的、効果的な事業執行に努める。
- ②事業形態の転換を踏まえ、簡素で効率的な組織を確立するとともに、技術継承、人材育成等により組織力の強化に努める。
- ③広域行政のスケールメリットを發揮しながら、安心安全な工場運営に万全を期し、適正な廃棄物処理事業を継続することを基本に、市町と協同して、更なるごみの減量・再資源化事業を推進する。
- ④財政負担の軽減、平準化を図るとともに、長期的視点に立った、総合的かつ計画的な施設整備に努める。
- ⑤折居清掃工場更新事業については、解体撤去及び跡地整備事業を着実に進捗させる。
- ⑥し尿処理事業については、下水道排水による適正かつ効率的な処理を実施するとともに、し尿収集体制の効率化を図る。
- ⑦環境マネジメントシステムによる継続的改善を一層進めるとともに、地球温暖化防止対策実行計画（第3期）「地球元気プランⅢ」の推進など地球環境保全に向けた取組や廃棄物処理事業の情報発信強化に努める。